

2024年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る 1 (Topics of Economy and Management 1) 2013-0-11-040					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

今後の学修の基礎となる経済・経営概念の解説を通じて、大学において学修・研究していく足がかりを提供することが本講義の主目的である。

本講義では主に国内・県内経済に関する題材をもとに、現実の経済活動、県内産業や特徴的な企業を取り上げ、紹介する。また、本講義を通じて、経済・景気の動き、県内産業の特徴や成り立ちのほか、本県には全国的にも有名な企業が多く存在することを学び、今後の研究のための基礎知識を蓄積し、問題意識を育てていただきたい。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

1 地域社会に貢献する姿勢／2 職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

経済・経営の現場を知る 2

⑤ テキスト (教科書)

テキスト指定なし。授業開始時にレジメを配布する。

⑥ 参考図書・指定図書

大江英樹 (2015) 『知らないと損する経済とお金の超基本 1年生』 東洋経済新聞社

新潟県統計課ホームページ「にいがた県統計ボックス」

その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 県内経済の産業構造を理解・説明することができる。
(ii) 県内の主要製造業とその製造品目を理解・説明することができる。
(iii) 県内の主要サービス業を理解・説明することができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 県内経済の産業構造の理解・説明	県内経済の産業構造等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内経済の産業構造等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内経済の産業構造等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 県内の主要製造業とその製造品目の理解・説明	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内の主要製造業とその製造品目等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 県内の主要サービス産業の理解・説明	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等に頼らず説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	県内の主要サービス産業とその製造品目等に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		30%		10%		100%
(i) 県内経済の産業構造の理解・説明	8%		4%		2%		14%
(ii) 県内の主要製造業とその製造品目の理解・説明	26%		13%		4%		43%

(iii) 県内の主要サービス産業の理解・説明	26%		13%		4%		43%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。						

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
新潟県の有力企業や産業の特徴を、より具体的に紹介していく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス、産業分類	講義の復習 新潟県の農林水産業の特徴	180分
2	農林水産業	講義の復習 新潟県内の鉱業・建設業	180分
3	鉱業、建設業	講義の復習 新潟県の米菓メーカー	180分
4	米菓製造業	講義の復習 新潟県の食料品、伝統的工芸品	180分
5	食品製造業、繊維製品製造業	講義の復習 新潟県の金属製品製造業	180分
6	製紙、化学、窯業、金属製品製造業	講義の復習 長岡市の企業	180分
7	◆長岡市の製造業	講義の復習 長岡市の製造業の発展の歩み・特徴	180分
8	電気機械、輸送機械製造業など	講義の復習 第四銀行と北越銀行の合併	180分
9	金融機関	講義の復習 卸売業と小売業	180分
10	小売業	講義の復習 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働	180分
11	卸売業、電気・ガス、再生可能エネルギー	講義の復習 不動産業、運輸業、情報通信業	180分
12	不動産業、運輸業、情報通信業	講義の復習 長岡市の起業家	180分
13	観光業、宿泊業、飲食業	講義の復習 新潟県の上場企業	180分

14	新潟県の上場企業と新興企業	講義の復習 県内上場企業の有価証券報告書	180分
15	講義のまとめ (県民経済計算と新潟県経済の課題)	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	180分

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。 ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。 			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
平成 15 (2003) 年 3 月～平成 24 (2012) 年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。			
実務経験と授業科目との関連性			
県内経済の動向調査、様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、県内経済・産業の特徴について、具体的な企業の紹介等を交えつつ分かりやすく説明する。			